

2 学士課程教育と学士力

大学での4年間の学修をとおして、「学士」にふさわしい力＝「学士力」を身につけましょう。

- 大学を卒業すると「学士」という学位が授与されます。そこで、大学の4年間を「学士課程（学士という学位を取得するための課程）」という言葉で表わします。この「学士」という学位は単に卒業時の修得単位数が124単位以上あることを示すものではありません。
- 本学では、中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて（平成20年12月24日）」をふまえ、学部学科の学生を履修対象にした全科目の授業シラバスに、学士力（授業をとおして修得できる力）の項目を記載しています。その目的は、本学での学びを、大学卒業生に対する社会の要請によく応えうるものにするためです。学士力は以下の3種類に分類されます。
 - ① 知識・理解（多文化・異文化に関する知識の理解、人類の文化・社会と自然に関する知識の理解）
 - ② 汎用的技能（コミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決能力）
 - ③ 態度・志向性（自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、生涯学習力）
- シラバスにある「授業の到達目標」がその授業で獲得できる学問的な力だとすれば、「学士力」に示されている力は、その授業をとおして身につけることができる、社会人として身につけるべき力のことです。
- 「学士力」は4年間、8セメスターの学修を積み重ねて身につけていくものです。科目の評価とあわせて、内容をともなった学士になるよう、しっかり勉強してください。

▶ **124単位**
(卒業要件の1つ)
参照『履修ガイド』
p.38

▶ **シラバス**
参照『履修ガイド』
p.23

▶ **セメスター**
参照『履修ガイド』
p.18